

# 平成26年（2014）9月 入域観光客数概況

9月の観光客数は、65万8,700人  
対前年（H25）同月比 +5万1,300人、+8.4%  
～外国客が単月の過去最高を更新～

## 入域状況

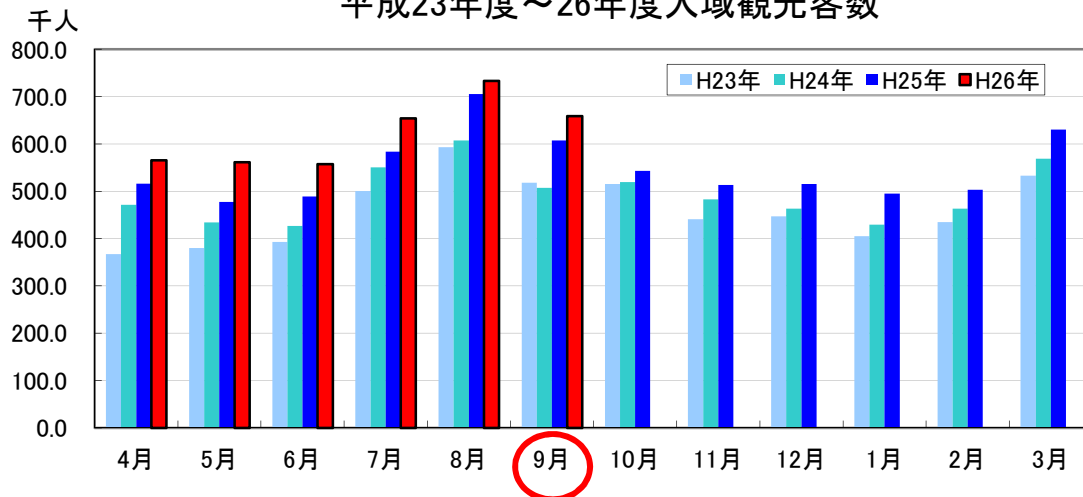
入域観光客数（平成25年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H26年度	H25年度	増減数	増減率	構成比
国内客	558,800 人	546,200 人	+ 12,600人	+ 2.3%	84.8%
外国客	99,900 人	61,200 人	+ 38,700人	+ 63.2%	15.2%
合計	658,700 人	607,400 人	+ 51,300人	+ 8.4%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成25年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H26年度	H25年度	増減数	増減率	構成比
国内客	558,800 人	546,200 人	+ 12,600人	+ 2.3%	86.8%
外国客	84,700 人	51,000 人	+ 33,700人	+ 66.1%	13.2%
合計	643,500 人	597,200 人	+ 46,300人	+ 7.8%	100.0%

平成23年度～26年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

9月は、トップシーズン後の需要がやや落ちる時期であり、前年より連休の日並びが悪いこと、本土ー石垣路線が伸び悩んだこと等から微増となった。

10月は、連休中に襲来した台風19号の影響により伸び悩みが懸念されるが、修学旅行など団体旅行が増加する時期でもあるため、前年度並みとなる見込み。

## 外国客 入域状況

9月は、夏と秋の旅行シーズンの中で訪日旅行が減少する時期であるが、沖縄方面は航空路線の拡充、クルーズ船の寄港増により、空路・海路ともに好調に推移し、単月の過去最高記録を更新した。

10月は、台風19号の影響が懸念されるものの、国慶節など主要方面で連休があるほか、クルーズ船の寄港回数の増により、好調に推移する見込み。なお、外国人旅行者の消費税免税対象の拡大も外国客増加に寄与すると予想される。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H26年度	H25年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	285,100 人	276,000 人	+ 9,100人	+ 3.3%	51.0%
関西方面	117,900 人	115,200 人	+ 2,700人	+ 2.3%	21.1%
福岡方面	65,400 人	65,000 人	+ 400人	+ 0.6%	11.7%
名古屋	40,500 人	40,400 人	+ 100人	+ 0.2%	7.2%
その他	49,900 人	49,600 人	+ 300人	+ 0.6%	8.9%
合計	558,800 人	546,200 人	+ 12,600人	+ 2.3%	100.0%

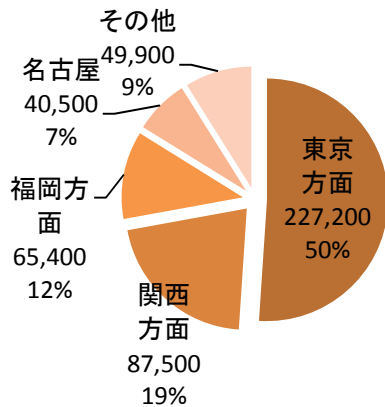
※国内海路客2,300人を含む(鹿児島:2,200人、その他:100人)

## 外国客 国籍別入域状況

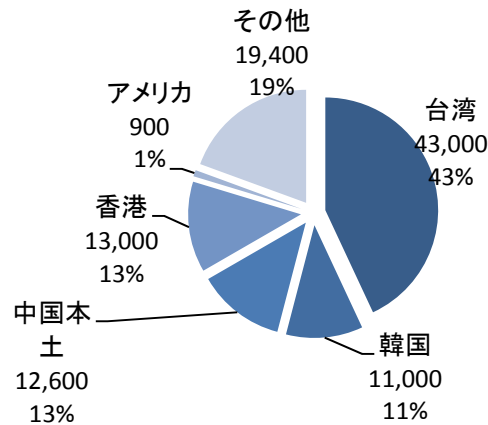
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H26年度	H26年度	H25年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	43,000 人	43,000 人	32,000 人	+ 11,000人	+34.4%	43.0%
韓国	11,000 人	11,000 人	5,200 人	+ 5,800人	+111.5%	11.0%
中国本土	12,600 人	12,600 人	5,700 人	+ 6,900人	+121.1%	12.6%
香港	13,000 人	13,000 人	7,900 人	+ 5,100人	+64.6%	13.0%
アメリカ	900 人	900 人	500 人	+ 400人	+80.0%	0.9%
その他	19,400 人	4,200 人	9,900 人	+ 9,500人	+96.0%	19.4%
合計	99,900 人	84,700 人	61,200 人	+ 38,700人	+63.2%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	26,700 人	26,700 人	+39.1%	43.1%	16,300 人	16,300 人	+27.3%	42.9%
韓国	10,900 人	10,900 人	+109.6%	17.6%	100 人	100 人	#DIV/0!	0.3%
中国本土	8,400 人	8,400 人	+147.1%	13.6%	4,200 人	4,200 人	+82.6%	11.1%
香港	12,000 人	12,000 人	+53.8%	19.4%	1,000 人	1,000 人	+900.0%	2.6%
アメリカ	700 人	700 人	+40.0%	1.1%	200 人	200 人	#DIV/0!	0.5%
その他	3,200 人	3,200 人	+68.4%	5.2%	16,200 人	1,000 人	+102.5%	42.6%
合計	61,900 人	61,900 人	+62.9%	100.0%	38,000 人	22,800 人	+63.8%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

9月は、上旬と下旬がやや減少したものの、中旬が好調であったことから、前年度を上回った。比較的安価なラストサマー商品やパッケージ商品が人気を集めた。  
10月は、修学旅行等の団体旅行が増加する時期であるが、連休中の台風の影響が懸念される。11月・12月および年末年始は好調に推移している。

### 大阪

9月は、前年度の増加要因であったLCCがやや減少したものの、伊丹ー那覇路線が引き続き好調であり、全体として前年を上回った。離島方面は、石垣島は若干落ち着き、宮古島・久米島が伸びているもよう。  
10月は、予約状況は好調であったが、前半の台風19号の影響を受け、前年度並みかやや下回る見込みである。

### 福岡

9月は、提供座席の減少と東京・関西方面等との競合により、ほぼ前年度並みとなった。  
10月は、台風19号の影響と前年の九州ブロックPTA大会特需の反動減が懸念されるが、月末にANA・スカイマークの福岡ー那覇路線の増便が予定されており、今後の入込増が期待できる。

### 名古屋

9月は、連休の日並びが悪かったことやこの時期のターゲット層である学生等の動きが鈍かったことから、ほぼ前年並みとなった。  
10月以降は、台風の影響があるものの、団体旅行やファミリー層を中心に予約が入っており、離島方面も人気であることから、前年度を上回る見込み。年末には久米島・宮古島へのチャーターツアーも企画されている。

### 台湾

9月は、クルーズ船の寄港回数の増加、中華航空の機材大型化等の航空路線の拡充により、前年度を上回った。  
10月は、台風19号の影響があるものの、月全体としては好調に推移する見込み。今年は、中華航空の台北ー那覇路線の冬季減便および台北ー石垣路線の冬季運休が無いため、例年より冬場の落ち込みが小さくなる見込み。

### 韓国

9月は、空路客を中心に前年度より増加した。秋夕連休中のチャーター便も好調であった。ドラマ等の影響により、沖縄への関心が高まったこともプラス要因となったもよう。  
10月は、連休が2回あり、予定されていたクルーズ船は台風の影響でキャンセルとなったが、アジアナ航空の機材大型化(不定期)やジンエアーのチャーター便が予定されており、空路客を中心に好調に推移する見込み。

### 中国本土・北京

9月は、トップシーズンの7・8月より減少する傾向があるものの、団体旅行が中心となり前年同月を上回った。  
10月は、国慶節連休による旅行需要の高まりにより、増加する見込み。大連発のチャーター便も予定されていることから、中国北部からの入り込み増が期待出来る。

### 中国本土・上海

9月は、中秋節連休により旅行需要が高まったことに加え、航空路線の拡充およびクルーズ船の寄港により、空路・海路ともに増加した。  
10月は、国慶節連休により、入込増が期待できる。クルーズ船の寄港や首都航空のチャーター便(杭州ー那覇)の就航が予定されていることから、好調に推移する見込み。

### 香港

9月は、個人旅行が好調であったほか、クルーズ船の寄港により海路客も大幅に増加したことにより、空路・海路ともに前年を上回った。  
10月以降は、マリンスポーツが難しい時期になり、競合先の日本本土が紅葉シーズンとなることからやや鈍化する見込み。また、反政府デモが長期化した場合旅行需要の低下も懸念される。